

すわみつえ通信

No.177 2021年6月14日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

6月議会 市民環境常任 委員会の審査にて

当委員会に付託された案件は、手数料徴収条例の一部改正議案と一般会計補正予算の2件です。条例改定議案に反対をし、補正予算に賛成しました。コロナ対策として議案に対しての事前質疑通告、1時間経過で15分程度の休憩は本会議と同様です。

2021年度一般会計補正 予算(第4号)に賛成

●キャッシュレス型消費活性化 事業 7,123万7千円

市内商店の活性化を図り、現金をやり取りしない非接触での会計などを目的とし、利用する消費者へのポイント付与の還元があります。2月から3月に第一弾を行い2億円の経済効果があったとのこと。コロナ禍で深刻な事業経営への活性化が目的です。

●コンビニ交付システム改修 74万8千円

住民基本台帳法の改正により戸籍の附票に「性別生年月日」の追加、「本籍・筆頭者」の記載が選択可となることから、マイナンバーカード利用で「コンビニ交付」するためのシステム改修です。

●総合体育館に空調設備設計 のための委託料 935万円

災害時に避難所となる、アリーナ・武道場・卓球場の3箇所に「災害支援体制整備事業債」を財源として、空調設備を設置するための設計委託料です。

●農業研修センター・市民 センター・市民活動センター などにサーマルカメラを設置

市役所庁舎入口には既にサーマルカメラが設置されていますが、顔を近づけて体温が測れるタイプを設置するものです。

マイナンバーカード再発行 のための手数料徴収条例 改正議案に反対

鴻巣市ではマイナンバーカード交付率は30・2%です。埼玉県内で9位の交付率ということですが、マイナンバー付与の大キャンペーンを行って申請を促しても、市民の申請が進まないのは個人情報漏洩の危険や自身の情報が国に管理されることへの抵抗ではないでしょうか。

今国会で「デジタル庁法」が成立しました。法施行により、9月1日よりマイナンバーカードの発行手数料の徴収は「地方公共団体情報システム」が市に「委託」して行うことに



アジサイの差し入れに心なご

なります。当市においては「再発行の手数料」を「手数料条例」で規定しているため、条例から削除することが必要となりました。市民の皆さんに直接的な影響はないものの市当局の事務処理において、具体的な内容はまだ示されていないということです。

「デジタル庁法」では、地方公共団体が運営する組織として、マイナンバーカードの発行管理など自治体の情報システムに関する事務を担ってきた「地方公共団体情報システム」を事実上、国の機関化する規定も盛り込んでいます。また、デジタル庁は職員500人の内100人以上が企業に籍を置いて、官民癒着が広がる恐れがあることが指摘されています。

マイナンバーカードの取得は義務ではないことを指摘し、反対討論を行いました。

俳句コーナー

ワクチンや腕一本の重さかな

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

五輪組織委公表

五輪来訪者1日34万人

開催 都内感染1000人程度に

しんぶん赤旗
6月12日付

東京五輪・パラリンピック組織委員会は6月11日、観客や大会関係者など来訪者が1日最大約34万人となることを公表しました。また大会を開催した場合、都内では8月末に新型コロナウイルスの新規感染者数が1000人程度となり、開催しない場合に比べ約2000人多くなるという試算を明らかにしました。同日開かれた新型コロナウイルス対策を助言する組織委の専門家会合に提出したものの、大会では各地から来訪者が集まるため、感染が全国に広がる危険性があります。

全国に広がる危険性

組織委が会合に示した資料によると、1日あたり最大で観客が約22・5万人、ライブサイトが約3・7万人（いずれも都内）、海外からの大会関係者が約5・9万人など、合計約34万人が活動するとしています。

会合では全国からの人流も検討。チケット販売状況から東京・千葉・埼玉・神奈川の1都3県以外からの来訪者は、全体の約24・約32%と分析しました。

今年のゴールデンウィークでは首都圏や関西からの来訪者が増加したことで沖縄県や北海道の感染者が増えたとされています。五輪でも地方に感染が拡大していく危険性があります。

内閣官房コロナ室が三菱総研に委託した都内の新規感染者の

大会開催に伴う1日あたりの来訪者数(最大値)

海外からの大会関係者	約5.9万人
観客(都内)	約22.5万人
国内関係者など	約1.5万人
都市ボランティア	約5千人
ライブサイト(都内)	約3.7万人
計	約34万人
(五輪組織委の資料から作成)	

予測も公表されました。6月以降に人流が毎週5%ずつ増え、さらに五輪期間中は1割増、パラリンピック期間中は5%増えたと仮定し計算しました。これによると、8月末の1日あたりの新規感染者数は、大会を開催しない場合は約800人、開催した場合は約1000人となっています。

党首討論に反響 メディアで続々 なぜ五輪か 志位委員長ズバリ



討論する志位和夫委員長=9日、衆院第1委員会室

しんぶん赤旗
6月11日付

「国民の疑問に答ええない菅総理をあぶりだした」「志位委員長の質問は光った」。日本共産党の志位和夫委員長が菅義偉首相に東京五輪の開催中止を迫った6月9日の党首討論での論戦が10日、各メディアで取り上げられ、反響を呼んでいます。

ラジオ・文化放送「くじまるジャパン極」では、政治アナリストの伊藤惇夫氏が党首討論の印象をコメント。「とくに志位さんに関しては、国民の疑問に答ええない菅総理をあぶりだしたと思う」と述べました。政府の新型コロナウイルス分科会の尾身茂会長の「五輪で感染リスクは高くなる」などの発言を並べ、「そうまでして五輪を開く理由はなにか」と志位氏がズバリ質問したと紹介。ところが菅首相は端的に答えず従来の発言を繰り返したとして、「菅さんはまともに答えていないね、というのがすごく浮き彫りになった」と評価しました。

TBSラジオ「伊集院光とらじおと」では、伊集院氏が「なかでも印象的だったのは共産党の志位委員長」「割と端的に切り込んでいった」と指摘。「国民の命を守れなかったら五輪は開かない」と菅首相が志位氏に答弁したことをあげ「実はこれを引き出すのはすごく大事」と述べ、時間があれば「『どういう意味ですか。中止の判断があるんですか』というところに行くところなんですけど」と述べました。

元気に泳いで田んぼのお仕事 福島・佐原でアイガモのひな150羽

福島市佐原の田んぼで、アイガモのひなが元気に泳ぎ回っている。尾形喜義さん(67)方では、農薬や化学肥料を使わないアイガモ農法に取り組んでいて、先月末苗を植えた田んぼ4・5アールにアイガモのひな約150羽を放した。

害獣よけの電気柵に守られ「ピーツピーピー」と呼び合うように鳴きながら、苗の間を群れで泳いで害虫や雑草を食べている。

遊んでいるように見えるが、足ひれで泥水をかき回すことで、苗に酸素の供給や雑草の抑制、水温の差を一定にするなど生育を助けている。尾形さんは「アイガモは大事な仕事仲間です」と笑顔で話していた。(福島民友新聞 6月10日付)

